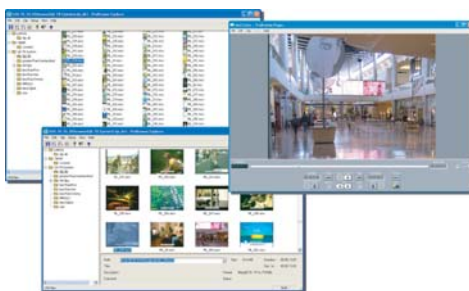


Omneon ProBrowse™ System

テープレスのワークフローを実現

メディアサーバの導入と、テープベースのワークフローからの移行により、放送局がコンテンツを送出する時の生産性は大きく高まりました。しかしサーバ自体は、蓄積しているコンテンツの再生を行わねばならず、また増大し続ける高ビットレートのメディア・ライブラリの保管場所にならなければならないなど、過大な負荷が発生しがちです。メディアを確認するためのコストはVHSなど安価なダビング手段を使用することによって削減できますが、コンテンツのダビングはリアルタイムで行わねばならず、またダビングが完了した後でなければ確認は不可能です。Omneon ProBrowse メディア・プロキシ・システムの登場により、大容量メディアサーバの持つ生産性面でのメリットをすべて実現するとともに、迅速、簡単にアクセスできる低解像度のメディアを使用してプレビュー、クリップ選択、検討、および承認を行うというワークフロー面の改善が可能になりました。



生産性を劇的に改善

Omneon ProBrowse システムは Omneon Spectrumメディアサーバとシームレスに協調し、ネットワークに接続されたどのデスクトップPCからもコンテンツの確認を可能にします。ProBrowseは自動的にプロキシを生成するため、ベースバンド、トランスポート・ストリーム、FTPなどの現在のインジェストプロセスはそのままに、新しくブラウズ機能を導入することができます。ProBrowseでは、ライターやエディターがインジェスト中にそのプロキシにアクセスでき、またフレーム精度で選択箇所をマークすることができます。ライターやエディターが決定した内容は、すべて自動的に高解像度のコンテンツに反映されます。承認担当者はe-メール経由でコンテンツへのリンクを受け取り、自分のデスクを離れることなくその内容を確認できます。

環境に合わせる柔軟性

Omneon ProBrowseは QuickTime® やMXFでOmneonシステムに保存されたHDおよびSDメディアを含め、主要なすべてのビデオフォーマットやビットレートをサポートしています。ProBrowseは複数のOmneon Spectrumメディアサーバに対し、それらのサーバの設置場所にかかわらず展開できるため、大規模な組織全体にわたってメディアへのアクセスが必要な場合に最適です。またProBrowseプロキシの再生は Quick Time Media Playerや Windows™ Media Playerなど、どの標準的なデスクトップ用メディアプレーヤーからも行えます。ProBrowseシステムは新しいOmneon Spectrumにも、またすでにオートメーションシステムが導入されているオンエア・システムの拡張にも組み込むことができます。

コンテンツをコントロールする

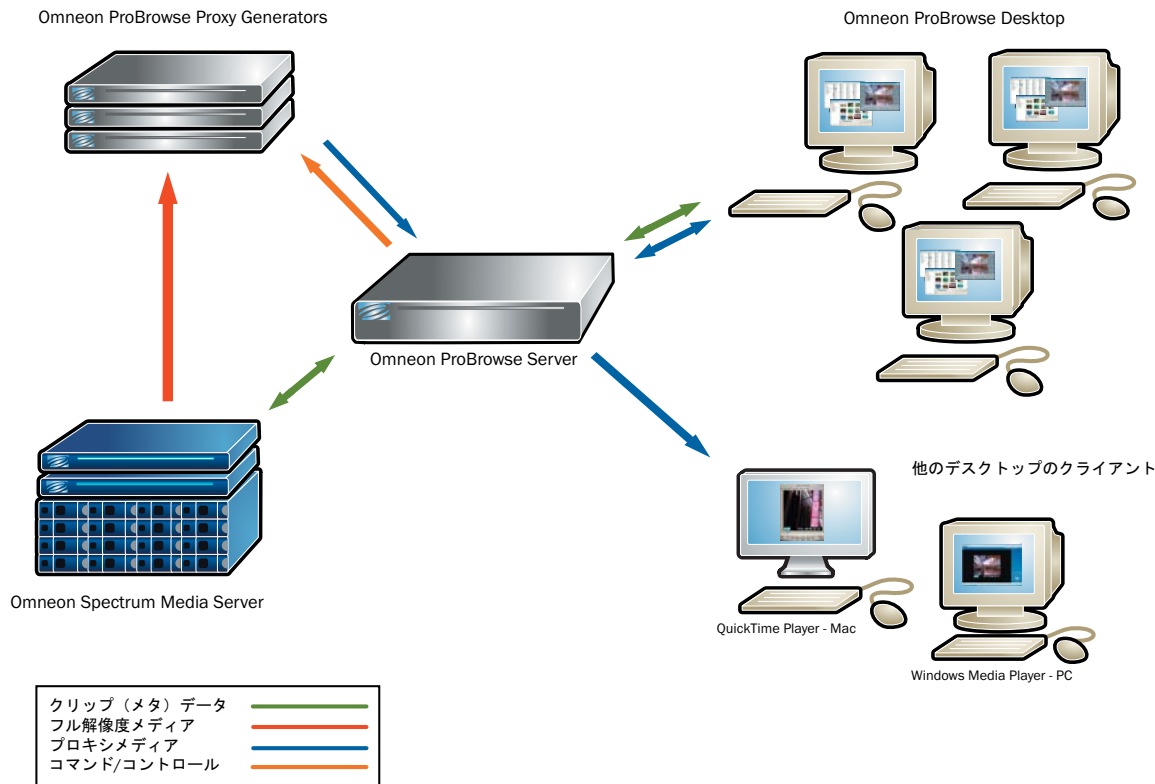
ProBrowseシステムには、包括的なメディア情報管理ソフトウェアのパッケージであるOmneon ProBrowse Desktopが含まれています。ProBrowse Desktopにはサムネイル作成、ユーザ定義のメタデータ追加、およびイン/アウトポイント指定のためのツールも搭載されています。メディアのタグ付けやマーキングも、ネットワーク上のどのPCからも行えます。Omneon SpectrumとOmneon ProBrowseを使用することにより、メディアサーバが持つ生産性向上と柔軟性のメリットが組織全体にわたって実現します。

› 特長

- フル解像度の素材をインジェストしている間も含め、帯域幅に負担を掛けないプロキシを直ちに表示可能
- どの Omneon Spectrum™ システムに保存されている素材も簡単に表示、検索、ソート、および管理
- インジェスト方法を問わず自動的にプロキシを生成
- プロキシとフル解像度素材の間でメタデータを完全に同期
- プロキシに設定したイン/アウトポイントは自動的に Omneon Spectrum システムに反映され、再生時に使用

› 詳細については下記をご覧ください。
<http://www.omneon.com/products>

Omneon ProBrowse System



Omneon ProBrowseシステムはモジュール構造として設計され、プロキシ生成や管理に関する要求の増大に合わせてシステムを拡張することができます。すべてのクライアントが新しいコンテンツを直ちにプロキシとして利用でき、プロキシのメタデータに加えられた変更箇所がフル解像度メディアのメタデータに反映されるよう、ProBrowseのさまざまなコンポーネントが協調して働きます。Omneon Spectrumサーバに取得チャンネルを追加したときは、プロキシ生成に伴う負荷の増大に対応するため ProBrowse Proxy Generatorを ProBrowseシステムに追加することができます。同様に、プロキシコンテンツのライブラリが大きくなった場合には、ProBrowse Serverにストレージを追加することができます。Omneonでの開発の最新情報はニュースレターでお伝えしています。配信申込は下記URLまで。
<http://www.omneon.com/update-me>.

For an Online Demo, Visit Demos on Demand™

<http://www.omneon.com/Demos-On-Demand>



www.omneon.com

米国本社

965 Stewart Drive
 Sunnyvale, CA 94085
 ph +1 866.861.5690
 ph +1 408.585.5000
 fx +1 408.585.5099

ヨーロッパ支社

20 Campbell Court
 Bramley, Basingstoke
 Hampshire RG26 5EG UK
 ph +44 (0) 1256.884.450
 fx +44 (0) 1256.880.900

東京オフィス

〒150-0013
 東京都渋谷区恵比寿1-21-3
 NRビル3F
 ph +81 3.5488.7425
 fx +81 3.5488.7433

アジア・パシフィック

20 Loyang Crescent
 Singapore 508984
 ph +65 6548.0500
 fx +65 6548.0504